



写真:ヤマガラ (撮影:平成29年1月11日)

「ヤマガラ」

好奇心が強く、昔は芸もした野鳥

えびの高原のノカイドウウ生地を歩いているとこずえを動きまわる小鳥たちに出会いました。数種類の野鳥でつくる「混群」という群れの中にヤマガラも多く見られます。白黒のツートンカラーの種類が多い中、ヤマガラは褐色ですぐに区別が付きまます。スズメより少し小さく「ニーニー」という独特の鳴き声も特徴。動きまわりますが、大好きな木の実を割るときが観察のチャンスです。両足で木の実を押さえ、くちばしでコツコツ叩き割る姿は、けなげでほほ笑ましいものです。この時ばかりは同じ場所にとどまっているので、じっくりと観察できます。

ヤマガラは、ノカイドウの樹皮の隙間を盛んに突いています。昆虫や隠しておいた木の実を探しているのでしょうか。好奇心が強く、人の近くに寄ってくることもあります。昔はおみくじを引く芸もさせていたそうです。数が多く、色が目立ち、観察しやすいヤマガラ。野鳥を覚える最初の種類としてはぴったりかもしれません。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヤマガラ
Parus varius

スズメ目 シジウカラ科

